

### キャリア教育を育てるために1

- 動きやすい組織で担う。
- いろいろなアイデアを取り入れ、個々のプログラムを作りながら、全体のイメージを育てていく。
- 美しい計画書づくりよりも、生徒の変化をみて考える。

### キャリア教育を育てるために2

- 失敗を許容し、フォローしあえる職場の雰囲気。
- 外部との連携を担う教員に時間の余裕を。
- 外部との連携を担う部署と、直接生徒を指導する学年の間に、有機的な連携を。
- 管理職のフットワークの軽さ。

### 終わりに・・・

- 教員が、学校と社会の関係や雇用問題など、社会の変化をみつめる目をもつこと。
- 社会の課題を必要以上に引き受けるためではなく、社会に出ていく子どもたちにとって、本当に意味のある教育とは何かを考えるために。

---

神奈川大学高大連携協議会主催シンポジウム

第3回 報告書

学校教育におけるキャリア教育

－高校における実践と課題－

---

2008(平成20)年11月28日発行

発行 神奈川大学高大連携協議会

神奈川大学

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

TEL 045-481-5661 FAX 045-481-2781